

地域性をふまえた研修の展開を～パイロット省からの声～

プロジェクトでは全国どの病院でも標準化された内容の臨床研修ができることを目指して活動をしています。しかし、研修のやり方、実施体制などは、地域の課題や利用可能な資源など各省の状況にあわせて調整する必要があります。このため、プロジェクトでは、臨床研修を含め、地域のニーズにあわせた看護活動が展開できるよう、各省の看護関係者を支援しています。9月期に行ったパイロット省での定期モニタリングでは、予算、人材、場などを効果的にマネジメントするなどの様々な工夫が報告されました。

ドンナイ省およびハノイ市：両地域では、保健局主催で定期的な看護部長会議を実施しています。会議では新しい政令に関する情報などを伝達するほか、各病院の看護活動のモニタリングも実施されています。プロジェクトでは臨床研修のモニタリングに同会議を活用することを検討しています。アウトリーチ型に加え集合型のモニタリングを実施できれば、活動の効率化だけでなく異なる病院間の情報共有や知識協創の機会にもつながると考えています。

ビンフック省：臨床研修をはじめとした看護活動に関する先行事例を学ぶため、省保健局は看護活動費を活用してスタディーツアーを実施しました。ツアーには同省保健局、病院関係者25名が参加。ドンナイ省の関係機関を訪問し、視察と意見交換を行いました。また看護系大学が存在しない同省では、ハノイ医科大学病院看護部との連携を強化するなど、さまざまな工夫を独自予算で進めています。

ディエンビエン省：同省では、過去数年間新人看護師の採用がありませんでしたが、今年度は10病院での採用が予定されており、新人教育を担うプリセプターの再教育が喫緊の課題となっています。各病院の施設規模が小さく、病院ごとの研修を実施することが困難な同省では、保健局がプリセプター研修の実施主体となり、省総合病院の施設を用いた研修を実施しています。



ドンナイ省内全病院の看護部長を集めた会議を運営する同省保健局看護リーダー、トゥ・アイン氏



ドンナイ省を訪問したビンフック省看護関係者



ディエンビエン省内の10病院を対象としたプリセプター研修

国際パートナーとの協働も進めています

ベトナムでは保健分野のドナー会合を実施する代わりに、保健人材開発にかかわる国際パートナーがインフォーマルな場を設けて、活動の進捗を共有するとともに、補完できるリソースや分野などを協議しています。主な参加者は、WHO、HPET（世界銀行プロジェクト）、HAIVN（ハーバード大学等）および本プロジェクトです。会合の回数を重ねるにつれ、パートナーによる支援の多くが医学教育を対象としており、看護への支援が少ないこと、その一因に同分野の国際専門家が不足していることが明らかになりました。このため本プロジェクトでは、ベトナムの看護教育の発展に向け、プロジェクトのスコープを超えて他ドナーと協働しています。

介入効果の実証に向けた調査を実施しています



調査説明を行うフェニアカ大学看護学部副学部長のフン先生

本プロジェクト成果の政策提言に向けた、卒後臨床研修プログラムの効果を検証するための実証研究が、ベトナム国内の複数の看護系大学の若手教員の協力のもと進んでいます。9月末、臨床研修開始前の新人看護師のコンピテンシーレベルを把握するための調査が終了しました。看護師の採用時期が病院により異なり、研修開始時期が一定ではなかったことで、調査には予想以上に時間がかかりました。今回、大学教員が調査にかかわったことで、こうした現場の課題が共有され、今後の大学と病院との協働による看護教育の改善につながると期待されます。研修実施後のデータ収集は10月から順次開始の予定です。